

特別史跡加曽利貝塚の解明に向けた更なる発掘調査を実施します！ ～本格調査第2弾！縄文時代晩期の竪穴住居跡の全貌解明を目指して～

千葉市では、昨年、貝塚で日本初の特別史跡に指定された加曽利貝塚の本格的な発掘調査を半世紀ぶりに行いました。

平成29年度の調査では、昭和39年の発掘調査時に縄文時代晩期の遺構が確認され、加曽利貝塚の集落がどのように終焉を迎えたのかを知る上で重要な地点である南貝塚北東端の発掘調査を実施しました。

このたび、本格調査第2弾として、全貌解明に向けた更なる発掘調査を8月7日（火）から実施しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

平成29年3月に、これまでの加曽利貝塚の発掘調査の成果を取りまとめた『史跡加曽利貝塚総括報告書』を刊行し、加曽利貝塚の全体像を示すことができた一方、集落と貝層の変遷の把握をはじめ、新たな解明すべき課題も明らかになった。

そこで、加曽利貝塚の構造や形成過程などを解明するため、発掘調査を新たに実施していくこととした。

平成30年度は平成29年度に一部発掘調査した縄文時代晩期の竪穴住居跡の未調査部分を発掘し、全貌を明らかにする。また周囲にある同時期の竪穴住居跡も調査し、加曽利貝塚の集落の終末期の様相の解明を目指す。

2 実施概要

(1) 調査期間

平成30年8月7日（火）～11月24日（土）

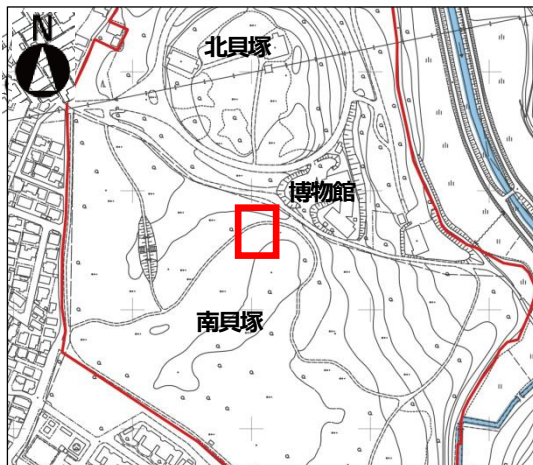
※日・月曜日・祝日は調査休止。


雨天の場合も同様。

(2) 調査場所（※詳細は別添「平成30年度調査計画図」を参照）

特別史跡加曽利貝塚 南貝塚 700㎡（東西25m×南北28m）

※平成29年度発掘調査地点を含む



※ ・・・発掘調査実施場所

(3) 調査内容

- ア 25m×28mの範囲の遺構分布状況の確認と一部発掘
- イ 範囲内に含まれる昭和39年調査トレンチの再発掘

(4) 調査工程 (予定)

- ア 準備作業 7月30日(月)～
- イ 調査開始 8月7日(火)～
- ウ 昭和39年調査トレンチ発掘 8月14日(火)～
- エ 排出土のふるいがけ作業 8月14日(火)～
- オ 竪穴住居跡の調査 8月28日(火)～
- カ 記録作業等の終了 11月22日(木)
- キ 現地説明会(調査終了) 11月24日(土)～
- ク 埋戻し 11月27日(火)～
- ケ 撤去作業 12月7日(金)

(5) 調査実施機関

千葉市埋蔵文化財調査センター 調査員2名・作業員9名 計11名体制

3 見学者への対応

発掘調査に関して広く知っていただくため、現地で説明会などを開催する。

(1) 現地説明会 (平成30年度調査成果の速報)

- ア 開催日時
11月24日(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:30
- イ 内 容
 - ・調査の目的、概要の説明
 - ・調査成果の説明
 - ・出土資料の展示、説明

(2) 学芸員(発掘担当職員)による現地ガイド

- ア 開催日時
調査期間中における発掘実施日の14:00～14:15
※調査休止日、雨天中止の場合を除く。
- イ 内 容
調査成果の説明

(3) ふるいがけ体験

見学者が実際の発掘で出た土のふるいがけ体験ができます。

- ア 内 容
土の中に含まれている細かい土器や石器などを探す。
- イ 場 所
発掘調査地点脇(専用の作業スペースを設置)
- ウ 日 時
8月18日(土)～調査期間中の土曜日14:15～15:00
※雨天中止。【申込方法】 当日直接、発掘現場へ。

(4) ボランティアによる園内ガイド

ア 実施日

加曾利貝塚博物館開館日に随時実施

イ 内 容

ボランティアガイドが博物館や野外観覧施設等を案内し、加曾利貝塚や縄文時代について解説する。

4 情報発信

ホームページ及び現地掲示板で情報を定期的に発信する。

(1) 加曾利貝塚博物館ホームページ（※毎日更新）

「発掘調査日誌」ページにより、日々の発掘調査の様子を発信する。

(2) 現地掲示板（※毎週更新）

ア 設置場所

発掘調査地点脇

イ 掲示内容

- ・発掘調査の目的、概要
- ・前週までの調査成果
- ・今週の調査予定

5 報道機関向け現地レクチャー等の開催

各種調査工程等のタイミングで、現地において報道機関向けのレクチャー等を開催する。

(1) スケジュール

日 時	工程等	内 容
8月7日（火） 14：00～	調査開始	発掘調査の概要を説明します。
11月20日（火） 14：00～	現地説明会開催前	現地説明会の見どころを説明します。

(2) 取材申込等

現地でのレクチャー等への参加を希望される方は、各実施日の10：00までに文化財課（電話245-5960）へ事前にご連絡ください。

※レクチャー当日、加曾利貝塚博物館入口に集合ください。

(3) その他

現地説明会の詳細は、11月上旬ごろに別途周知予定。

<参考>加曾利貝塚における過去の主な発掘調査

加曾利貝塚の史跡指定地内での発掘調査は平成26年度にも実施しているが、史跡の内容確認を目的とした本格的な発掘調査は昭和47年以来、半世紀ぶり（45年ぶり）となる。

昭和37年	北貝塚東側貝層部2か所の確認調査 (加曾利貝塚の重要性を確認し、保存運動を推進するための調査) ※竪穴住居跡や人骨を発見し、北貝塚が縄文中期～後期の集落であることを確認。
昭和39年	南貝塚の貝層部全体を対象とした確認調査 (保存運動を推進するための確認調査) ※南貝塚が馬蹄形の形であることを確認したほか、住居跡や埋葬人骨を発見し、南貝塚が縄文時代晩期の遺構であることを確認。
昭和40～43年	北貝塚の公園整備、博物館整備に伴う事前調査 (北貝塚貝層断面観覧施設、住居跡群観覧施設、旧大須賀家住宅移築などの整備に伴う調査)
昭和45～47年	市立老人ホーム建設に伴う予備調査 (南貝塚東側傾斜面一帯の遺構を確認するための確認調査) ※縄文前期～後期の住居跡などを発見し、傾斜面一帯も縄文集落であったことを確認したほか、坂月川に面する東側傾斜面先端を船着場と推定。
平成元～2年	史跡整備に伴う事前調査 (南貝塚貝層断面観覧施設、復元集落などの整備に伴う確認調査)
平成24・26年	加曾利貝塚限界確認調査 (史跡の範囲を確認するための調査) ※史跡北側の集落の広がりを確認。これを基に平成28年度に追加指定申請。
平成29年～	加曾利貝塚の構造や形成過程解明のための調査 (南貝塚、縄文時代晩期の遺構を中心とする発掘調査)